

ダイワSociety 5.0関連株ファンド（資産成長型） / （予想分配金提示型）

（愛称：スマートテクノロジー（資産成長型） / （予想分配金提示型））

足元の下落要因と今後の見通しについてのご説明

2021年5月31日

平素は、「ダイワSociety5.0関連株ファンド（愛称：スマートテクノロジー）資産成長型／予想分配金提示型」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

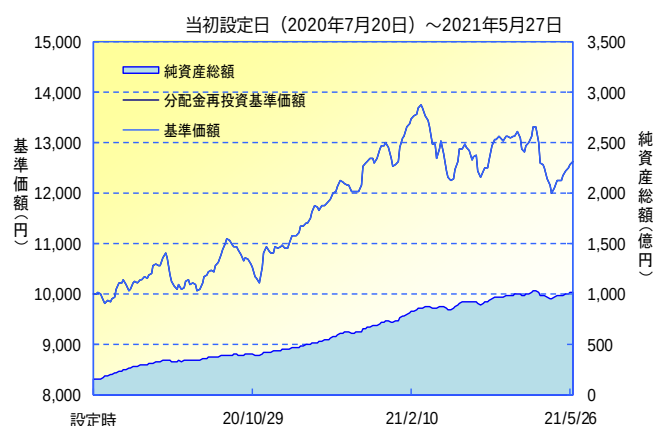
本資料では、当ファンドの基準価額の足元での下落要因などについてご報告します。

当ファンドは、2020年7月20日の設定以来、テクノロジー関連株への高値警戒感や、新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒感から上値の重い場面もみられましたが、2020年末にかけては新型コロナウイルスワクチンの実用化期待の高まりなどを受け堅調に推移しました。2021年の年初以降は、米国での追加経済対策成立を背景とした景気回復期待や、主要国でのワクチン接種の進展を受けグローバル株式市場は堅調な推移となりましたが、米国での景気回復期待を受けて長期金利の先高警戒感が意識されたことで、高PER（株価収益率）のハイテク株を中心に下落したことから、当ファンドは2月中旬から3月上旬にかけて軟調な展開となり、その後も上値の重い推移となっております。

基準価額・純資産の推移（2021年5月27日現在）

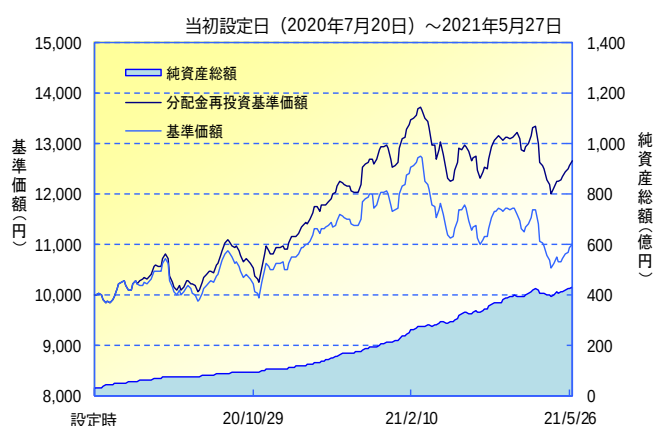
資産成長型

基準価額	12,625 円
純資産総額	1,010億円



予想分配金提示型

基準価額	10,973 円
純資産総額	429億円



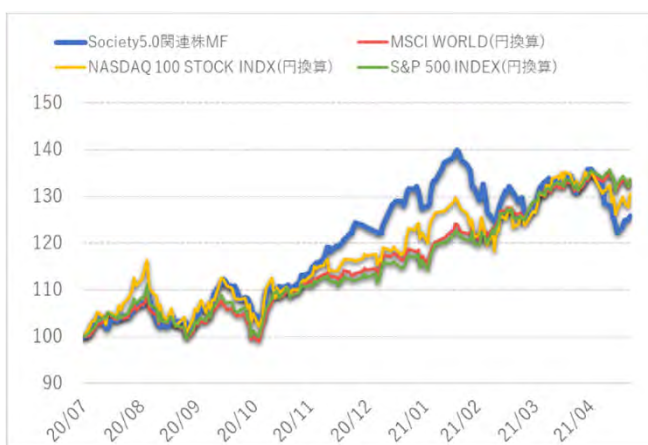
※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

代表的なインデックスに対するパフォーマンスについて

当ファンドは、Society5.0で表される超スマート社会の実現といった観点から成長が期待されるテーマ型ファンドを組み入れた運用を行っており、基準価額の動きは情報技術や一般消費財・サービスといった業種別指数の動きと関連度が高いことが特徴となっております。（業種別指数との関連度は、当ファンドの投資対象ファンドの平均リターンとS&P500種指数の業種別指数の相関係数から推計しています。）

当ファンドと代表的なインデックスのパフォーマンスの推移（図1）をみますと、2021年の年初にかけてはグローバル株式市場が堅調な推移となるなか、グローバルでのEV化の流れの加速期待や新型コロナウイルスワクチン開発の進展期待を背景に、当ファンドの投資対象ファンドであるEVやゲノムといったテーマ型ファンドが良好なパフォーマンスとなったことから、当ファンドはインデックスに比べ上昇となりました。その後、足元にかけては上値の重い展開となりました。当ファンドのMSCI WORLD（円換算）に対する超過リターンの推移（図2）をみますと、2021年2月末から3月上旬にかけてと、4月末から足元にかけては超過リターンは下落となりました。S&P500種指数の業種別指数について、予想PERと超過リターンの下落前後での騰落率（図3）をみますと、高PER業種である情報技術、一般消費財・サービスの下落率が比較的大きく、金利上昇によりバリュエーションの面で割高感が意識されたと考えます。一方、S&P500種指数に比べハイテク株の構成比率が高いNASDAQ100指数とは類似した推移となっております。

（図1）当ファンドと代表的なインデックスの比較



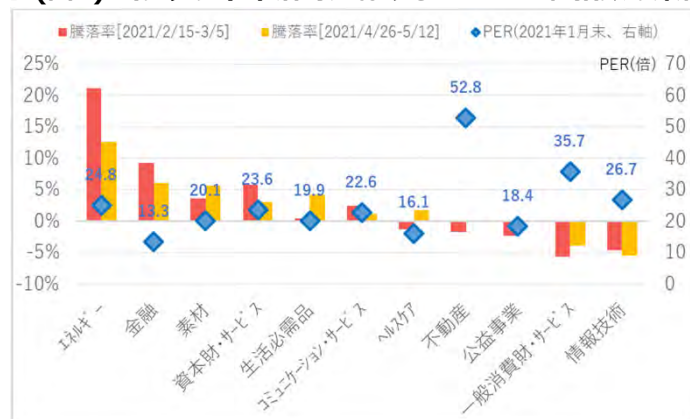
※当ファンド設定月末（2020年7月末）を100として指数化
※2020年7月末から2021年5月21日
（出所）Bloomberg等のデータをもとに当社作成

（図2）当ファンドの超過リターン（対MSCI WORLD(円換算)）と米国国債利回り



※累積超過リターンは当ファンド設定月末（2020年7月末）を基準として日次超過リターンを累積したグラフ
※2020年7月末から2021年5月21日
（出所）Bloomberg等のデータをもとに当社作成

（図3）当ファンド下落時におけるS&P500種指数の業種別指数の騰落率とPER



※グラフは左から2つの期間の騰落率の合計値の大きい順
（出所）Refinitiv等のデータをもとに当社作成

当ファンドの特徴

Society5.0とは、日本政府が目指すべき未来社会として提唱した「超スマート社会」（経団連の説明によると、AIやIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技术をあらゆる産業や社会に取り入れることにより実現する新たな未来社会の姿）を指すものです。当ファンドでは、Society5.0に関連する4つのコンセプトに適合しコンセプトの成長から恩恵が見込まれるテーマ型ファンドを投資対象として選定します。

便利な暮らし (省力化)	豊かな暮らし (消費・サービス等)	健康的な暮らし (医療等)	支える技術 (デジタル基盤技術)
-----------------	----------------------	------------------	---------------------

投資対象とするそれぞれのテーマ型ファンドは魅力が高く、わが国で推進されるsociety5.0の実現の流れはグローバルでも共通のテーマと考えられることから今後の成長も期待できます。しかし、(図4)の騰落率のようにそれぞれのファンドの値動きの幅は大きく、投資タイミングを見極めるのは難しい側面があります。

当ファンドはそれぞれの投資対象ファンドの成長性を捉え、配分比率を毎月変更することで相対的に安定したパフォーマンスとなっております。さらに当ファンドは、2021年1月に投資対象ファンドに遠隔医療、デジタルヘルスに関連したファンドを追加するなど、時流に合わせてファンドの組み換えも行っております。

このような運用上の工夫により、皆様の長期の資産形成に役立つファンドとして運用を行ってまいります。

〔図4〕各月の投資対象ファンドの騰落率

2020年8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月
eス"ー [13.4%]	eス"ー [0.2%]	EV [5.6%]	EV [26.4%]	ケ"ム [26.2%]	ス"リフイ [14.3%]	フィンテック [12.3%]	MSCI WORLD [5.9%]	サイバ"セキリティ [11.9%]
テ"ノロジ"ー [11.7%]	ケ"ム [-0.2%]	医療機器 [3.2%]	ス"リフイ [16.3%]	サイバ"セキリティ [14.6%]	EV [12.2%]	テ"ノロジ"ー [8.2%]	フ"ードテック [4.4%]	ケ"ム [11.3%]
ス"リフイ [11.0%]	高齢社会 [-0.3%]	ケ"ム [3.0%]	フィンテック [15.5%]	Society5.0 [8.5%]	eス"ー [9.5%]	IoT [7.0%]	eス"ー [2.5%]	医療機器 [10.4%]
AI/ヒ"ッグデータ [10.0%]	クラウド [-1.3%]	ス"リフイ [2.7%]	eス"ー [12.6%]	クラウド [7.8%]	eス"ー [8.7%]	フ"ードテック [5.9%]	AI/ヒ"ッグデータ [2.0%]	IoT [7.8%]
eス"ー [9.7%]	EV [-1.4%]	eス"ー [0.7%]	IoT [12.0%]	eス"ー [7.4%]	AI/ヒ"ッグデータ [5.1%]	医療機器 [5.1%]	医療機器 [2.0%]	テ"ノロジ"ー [7.6%]
ケ"ム [9.2%]	医療機器 [-1.8%]	AI/ヒ"ッグデータ [0.6%]	MSCI WORLD [11.8%]	IoT [7.3%]	高齢社会 [3.6%]	医療機器 [4.6%]	テ"ノロジ"ー [-0.7%]	リー"ム"ス"ア"フ [7.3%]
クラウド [8.2%]	ス"リフイ [-2.1%]	IoT [0.6%]	医療機器 [11.2%]	医療機器 [7.1%]	フ"ードテック [3.4%]	ス"リフイ [4.2%]	フィンテック [-2.4%]	フィンテック [6.9%]
MSCI WORLD [7.5%]	Society5.0 [-2.1%]	クラウド [0.5%]	フ"ードテック [10.5%]	ス"リフイ [5.6%]	医療機器 [3.3%]	MSCI WORLD [3.9%]	eス"ー [-2.5%]	Society5.0 [6.7%]
Society5.0 [6.8%]	IoT [-2.2%]	Society5.0 [0.3%]	テ"ノロジ"ー [9.0%]	EV [4.7%]	医療機器 [3.2%]	AI/ヒ"ッグデータ [3.7%]	医療機器 [-2.7%]	医療機器 [6.4%]
医療機器 [6.0%]	医療機器 [-2.4%]	サイバ"セキリティ [0.0%]	AI/ヒ"ッグデータ [8.9%]	フィンテック [4.2%]	Society5.0 [3.2%]	Society5.0 [3.5%]	遠隔医療 [-3.2%]	EV [5.3%]
EV [6.0%]	AI/ヒ"ッグデータ [-3.0%]	eス"ー [-0.1%]	Society5.0 [8.6%]	医療機器 [4.2%]	MSCI WORLD [1.8%]	サイバ"セキリティ [3.0%]	クラウド [-3.3%]	ス"リフイ [5.2%]
フィンテック [5.5%]	フ"ードテック [-1.3%]	医療機器 [-1.3%]	ケ"ム [7.5%]	高齢社会 [4.1%]	IoT [1.6%]	eス"ー [2.7%]	Society5.0 [-3.5%]	遠隔医療 [4.8%]
フ"ードテック [5.4%]	サイバ"セキリティ [-3.2%]	テ"ノロジ"ー [-2.0%]	高齢社会 [7.2%]	テ"ノロジ"ー [3.6%]	クラウド [0.9%]	eス"ー [2.3%]	IoT [-5.0%]	AI/ヒ"ッグデータ [4.6%]
サイバ"セキリティ [3.8%]	MSCI WORLD [-3.5%]	MSCI WORLD [-2.6%]	サイバ"セキリティ [6.1%]	AI/ヒ"ッグデータ [3.5%]	ケ"ム [0.3%]	EV [1.5%]	EV [-5.2%]	eス"ー [4.0%]
IoT [3.1%]	eス"ー [-3.9%]	フ"ードテック [-3.7%]	クラウド [5.8%]	MSCI WORLD [2.7%]	サイバ"セキリティ [0.1%]	ケ"ム [-0.6%]	ス"リフイ [-6.1%]	MSCI WORLD [3.7%]
医療機器 [1.7%]	フィンテック [-5.1%]	高齢社会 [-3.8%]	eス"ー [3.8%]	フ"ードテック [2.4%]	テ"ノロジ"ー [-0.7%]	クラウド [-1.2%]	サイバ"セキリティ [-6.1%]	フ"ードテック [3.2%]
高齢社会 [0.8%]	テ"ノロジ"ー [-6.1%]	フィンテック [-4.1%]	医療機器 [1.6%]	eス"ー [0.9%]	フィンテック [-2.9%]		ケ"ム [-14.2%]	eス"ー [2.2%]

※各投資対象ファンドをテーマの略称で示しています。

※騰落率は当ファンドの基準価額に反映される日を用いて、円建てで計算しています。

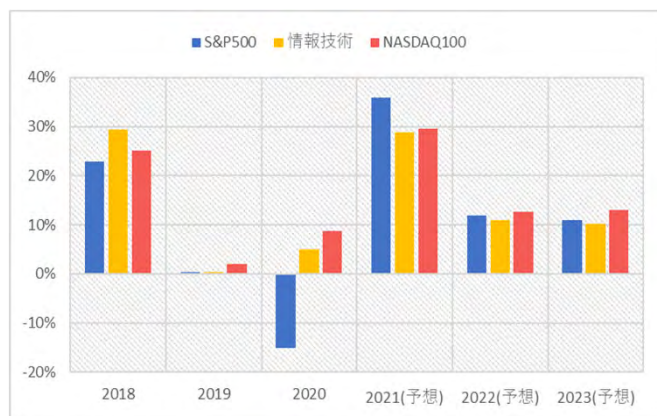
(出所) Bloomberg等のデータをもとに当社作成

今後の見通し

当ファンドは足元におきまして、主にバリュエーション面から金利上昇によるパフォーマンスの低下がみられましたが、一方で、当ファンドで投資対象とするファンドのテーマは景気回復の恩恵を相対的に受けやすく、新型コロナウイルスのワクチン普及に伴う景気回復が見込まれるなか、中長期的には堅調に推移することが見込まれます。

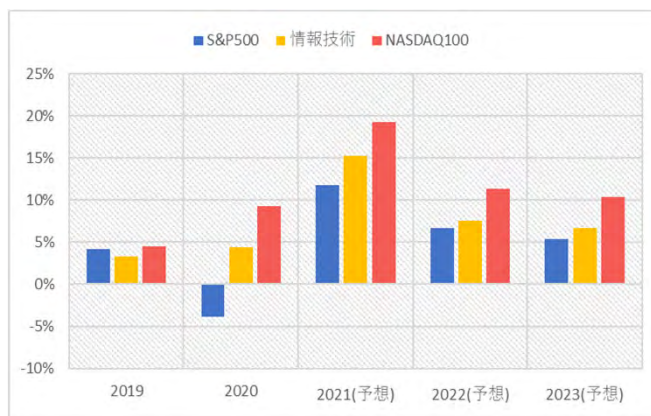
また、情報技術セクターや当ファンドと比較的類似した推移を示すNASDAQ100指数の予想EPS成長率（図5）や予想売上高成長率（図6）はそれぞれ拡大傾向が継続しており、依然として新型コロナウイルスを背景としたIT需要の高まりやデジタル化の拡大が想定されます。

（図5）関連する株価指数の予想EPS成長率



※「情報技術」は S&P500種指数の業種別指数（出所）Refinitiv等のデータをもとに当社作成

（図6）関連する株価指数の予想売上高成長率



※「情報技術」は S&P500種指数の業種別指数（出所）Refinitiv等のデータをもとに当社作成

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

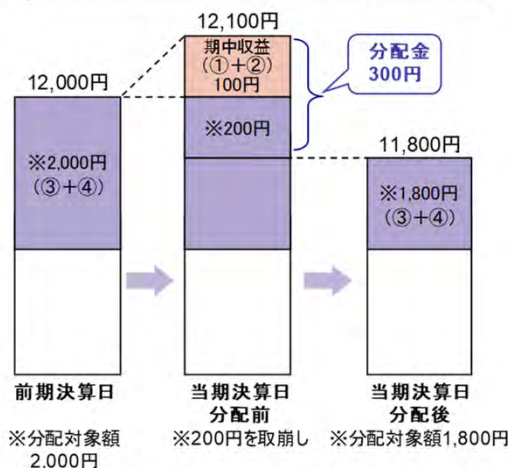
投資信託で分配金が支払われるイメージ



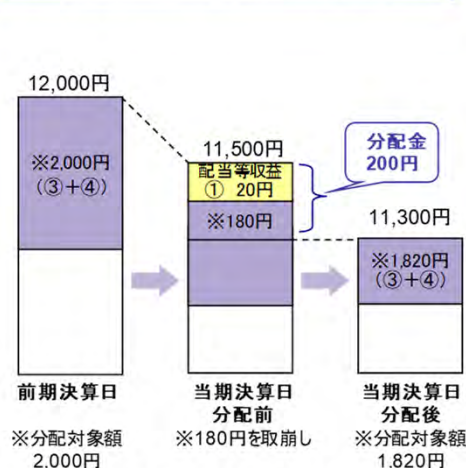
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



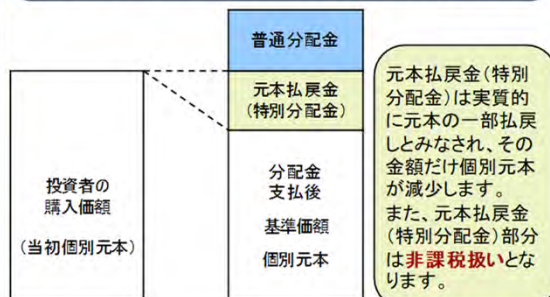
前期決算日から基準価額が下落した場合



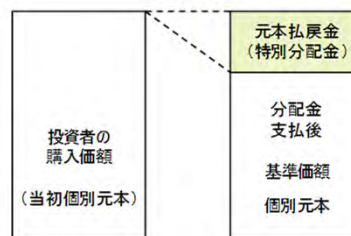
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

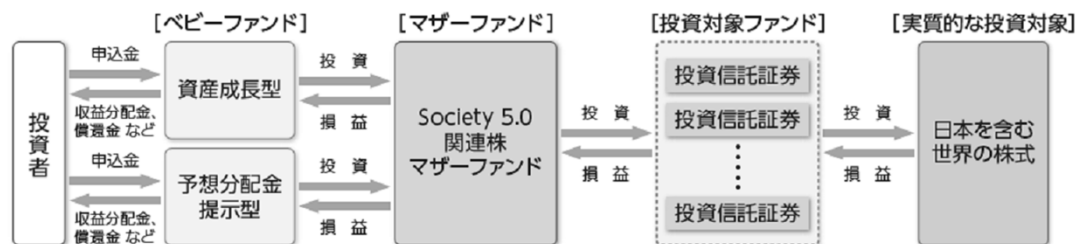
Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 「Society 5.0」をテーマに投資信託証券を選定し、日本を含む世界の株式に実質的に投資します。
 - ◆Society 5.0 とは、Society 1.0（狩猟社会）、Society 2.0（農耕社会）、Society 3.0（工業社会）、Society 4.0（情報社会）に続く、未来社会のモデルを意味する言葉です。科学技術の高度な発展を基盤として様々な困難や課題を解決し、利便性の高い社会を実現することが期待されています。
 - ◆Society 5.0 を4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。
 - 4つのコンセプト
 - ・支える技術（デジタル基盤技術等）
 - ・便利な暮らし（省力化等）
 - ・健康的な暮らし（医療等）
 - ・豊かな暮らし（消費・サービス等）
2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。



3. 分配方針の異なる2つのコースがあります。

資産成長型

- 毎年1月19日および7月19日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
- （注）第1計算期間は、2021年1月19日（休業日の場合翌営業日）までとします。

予想分配金提示型

- 毎月19日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
- （注）第1計算期間は、2020年8月19日（休業日の場合翌営業日）までとします。
- 計算期末の前営業日の基準価額の水準に応じ、下記の金額の分配をめざします。
- ※ 基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。
- ※ 当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、下記の分配を行わないことがあります。

計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
10,000円以上 11,000円未満	100円
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※ 計算期末の前営業日の基準価額が10,000円未満の場合、原則として、分配を行ないません。

※ 基準価額に応じて、分配金額が変動します。基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。

※ 分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

※ 販売会社によっては「資産成長型」または「予想分配金提示型」のどちらか一方のみのお取り扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問い合わせ下さい。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
 ダイワ Society 5.0 関連株ファンド（資産成長型）（愛称：スマートテクノロジー（資産成長型））
 ：資産成長型
 ダイワ Society 5.0 関連株ファンド（予想分配金提示型）（愛称：スマートテクノロジー（予想分配金提示型））
 ：予想分配金提示型
- ◆ 各ファンドの総称を「ダイワ Society 5.0 関連株ファンド（愛称：スマートテクノロジー）」とします。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3%（税抜3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.122%（税抜 1.02%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 （2021年1月末時点）	年率 1.67%（税抜 1.55%）～1.96%（税抜 1.78%）程度 ※マザーファンドの投資ユニバースに含まれる投資信託証券の運用管理費用を考慮した ものです。実際の組入状況等により変動します。	
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社：

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
 加入協会 日本証券業協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。